

## ■教育行政のポイント

### 見えてきた“道徳教科書”の姿

菱村 幸彦

7月23日、文科省の教科用図書検定調査審議会  
は、『『特別の教科 道徳』の教科書検定について  
(報告)』(以下「報告」)をとりまとめた。

報告は、来年度に行われる小学校用道徳教科書  
の検定(中学校用は再来年度)に用いられる検定基  
準の在り方について具体的な提言をしている。

検定基準は、文科省が教科書検定を行う際の判  
断基準であるが、検定で検定基準に照らして、多数  
の欠陥が指摘されると、不合格となるおそれがある。  
このため、教科書会社は、検定基準に適合した教科  
書づくりに努めるので、検定基準は、教科書編集の  
指針の役割も持つことになる。

道徳科の教科書がどんなものとなるか、教育関係  
者の関心は高い。今回の報告によって、道徳教科書  
の姿がかなり見えてきたのではないか。

#### 指導要領が示す全題材を取り上げる

検定基準は、「各教科共通の条件」と「各教科固有  
の条件」から構成されている。

各教科共通の条件については、すでに、[1]教育  
基本法、学校教育法の目的・目標との一致、[2]学  
習指導要領の教科の目標・内容・内容の取扱いとの  
整合、[3]心身の発達段階への適応等が定められて  
いる。したがって、道徳教科書は、まず、これらの条  
件を満たしたものでなければならない。

問題は、各教科固有の条件である。報告は、道徳  
科の固有の条件として、次のような基準の新設を提  
言している。

第1は、題材・活動についての基準。道徳科の指  
導要領は、「内容の取扱い」で、生命の尊厳、社会参  
画(中学校)、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポ  
ーツ、情報化への対応等現代的な課題などの題材を  
明示している。報告は、道徳教科書では、これらの題  
材をすべて取り上げることが求めている。

また、報告は、道徳科が「考える道徳」「議論する

道徳」への転換を図るものであることを踏まえ、道徳  
教科書に「言語活動」「問題解決的な学習」「道徳的  
行為に関する体験的な学習」について適切な配慮が  
されることを求めている。

第2は、教材の適切性に関する基準。報告は、[1]  
適切な教材を取り上げていること、[2]教材の取り上  
げ方に不適切なところはないことを求めている。特に  
多様な見方や考え方ができる事柄を取り上げる場合  
は、特定の見方や考え方に偏らず、発達段階に即し  
て、多面的・多角的に考えられるよう適切な配慮が  
必要としている。

第3は、内容項目との関係を示す基準。道徳教科  
書は、道徳科の指導要領の内容項目に即したもので  
なければならないが、報告は、道徳教科書の主な記  
述と道徳科の内容項目との関係を明示し、かつ、そ  
の関係が指導要領に照らして適切であることを求め  
ている。

#### 既存の道徳教材のよさを生かす

このほか、報告は、道徳教科書の留意点として、  
[1]国際理解や国際協調の視点から、多面的・多角  
的に考えることができる教材であること、[2]民間発行  
の副読本、教育委員会作成の地域教材、文科省作  
成の教材等の様々な教材のよさを生かすこと、[3]家  
庭や地域社会と連携した道徳教育にも資するものとな  
ること等を挙げている。

なお、道徳教科書は、道徳的価値にかかわるもの  
であることから、他教科のような専門的・学術的な検  
定意見を付すことは難しいという意見がある。報告  
は、この点について、これまでに道徳教育に関する  
指導方法や教材等に関する研究の蓄積があるので、  
専門的見地から検定意見を付すことは可能として  
いる。

(ひしむら・ゆきひこ=国立教育政策研究所名誉所員)

●筆記試験・面接試験に頻出する教育法規・時事問題を直前チェック!

## 2016 学校管理職選考 試験に出る教育法規・時事問題

[編集] 教育開発研究所 四六判・200頁/定価(本体 2,000円)+税

■研修誌・図書の小社への直接のお申込みは、小社HP <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp> をご利用ください。

